

ひたちおおたの文化

第22号

常陸太田市文化団体連合会

発行責任者

会長 黒羽文男

事務局

常陸太田市教育委員会

文化課文化振興係

『常陸太田の黄門様検定会』

第15回水戸黄門さま漫遊ウォーク参加者へのおもてなし



『里美華翠連』

第27回ひたちおた芸能祭での発表



『ハンドベルサークル アフェット』 オレンジカフェやすらぎでの演奏



『常陸太田市彩友会』 水彩画展での展示風景

黄門様という自身の足で諸国漫遊をしたテレビ番組のイメージが強いですが、そのイメージとは裏腹に、史実の黄門様（光圀公）の足跡は江戸近辺、水戸藩領内に限られます。しかし諸国に史臣を派遣したのは、事実です。

黄門様は新しいもの、珍しいものが大好きで先見の明旺盛な人物でした。幕府に先駆けて正しい日本史の編纂に取り掛かったり、松前に船を派遣させたり、異種の動植物を収集したりと積極的に取り組んでいましたが、特に食に対する興味は格別でした。西山御殿に隠棲したのも山海の珍味が容易に入手できるからでもありました。西山の松茸の塩漬けを考案したり、江戸前の蛤、松前の昆布、近江の鮒を領内に取り寄せたりと、食に対しての蘊蓄も深く、料理人の腕をさぞ悩ませたことでしょう。

ところで、黄門様の宴にラーメンが振舞われたという有名な逸話がありますが、事実かどうかは訝しく思います。『日乗上人日記』の「元禄十年六月十六日、日周師にかけという物振舞にて、御所に参る。」という記述があり、「うんどんのごとく」と記された「かけ」を元祖としているというのがラーメン業界の根拠ですが、黄門様が振舞った訳ではなく食した訳でもない。そしてこの「御所」とは西山御殿とは異なり、旧久昌寺の三味堂檀林に修行中の京都の僧尊明院が振舞った館なのです。

このラーメンの話だけではなく、文化とは後の世に一人歩きしてしまいます。京都、江戸の文化情報は、日乗上人の飛脚文や御殿への家臣の来訪によって、黄門様にも、善かれ悪しかれ逐次内通されていきました。その文化の一端である黄門様の宴での詩歌や逸話等から、晩年にこよなく愛した、県北の文化の都邑常陸太田の隠れた情緒的文化が見出せると思うのです。



黄門様の宴と文化

常陸太田市文化団体連合会

副会長 石川 誠

加盟団体活動紹介

常陸太田市美術協会 十五周年をむかえて

会長 沼田久雪

常陸太田市美術協会は平成十七年に発足し十五周年を迎えました。振り返ってみますと市民交流センター多目的ホールで第一回の記念展を開催してから、早いもので十五回目の記念展を昨年開催することができました。この間、五周年、十周年ごとの記念展・チャリティ展の開催、鯨ヶ丘でまちかど美術館（五周年）



などの各種事業を開催して、会員の意欲的な作品を継続して発表してまいりました。

これまで多くの市民の皆様をはじめ、特に文化団体関係の皆様方にご高覧をいただいております。会員たちは作品を制作するうえで大きな励みになっていっていると思います。感謝申し上げます。

この美術協会の前身は昭和二十三年、戦前にこの地に疎開してきた画家榎戸庄衛氏が提唱し、共に疎開してきた画家達の賛同をうけ設立された常北美術協会です。旧太田



町役場大会議室を会場にして毎年展覧会を開催し、半世紀に亘り当地域の美術文化の発展向上に大きな役割を果たしてきました。私もこの常北美術協会の一員として諸先輩方と共に活動に携わってきましたが、平成十六年の大合併による新市誕生を契機として常北美術協会は発展的に解消し、常陸太田市美術協会へと引き継がれました。設立時の会員数は三十五名でしたが、現在は日本画、洋画、デザイン、彫刻、写真五部門で五十名までに増加し、会員の活動も全国規模の美術展、県展、グループ展などに出品をして活躍を見せており、当協会も県内有数の美術団体として認められるようになってまいりました。非常に嬉



しく喜ばしい限りです。

昨年は十五周年記念事業として、東京芸術大学学園祭を見学して会員の研鑽をはかり、相互に切磋琢磨しながら作品のレベルアップに努めています。しかし、いずれの美術団体も高齢化が進み後継者の育成が課題となっています。当協会も例外でなく、今後、若手の作家の育成、会員の増加をはかることが課題となっております。これからも常陸太田市の芸術文化の高揚、発展に寄与することができるよう会員が一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様の応援をよろしくお願い致します。



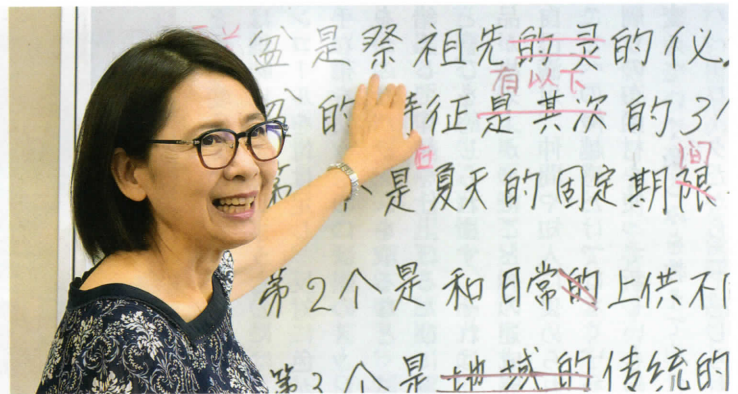
漢語愛好会

代表 原田 静雄

漫才師中川家礼二さんのネタに、中国人の物真似があります。誰もが認める芸の「イッピン」で、私たち日本人が、中国人・中国語をどのように捉えているかがわかる示唆に富んだネタであり、作品です。

私たち「漢語愛好会」は昨年五月に発足しました。生涯学習センターの初級中国語講座で基礎を学んだ修了生を中心とした同好の有志と共に、更なる学習の場を求めて発足し、文化団体連合会に加盟するところとなりました。現在会員は九名です。仲間との交流を育みながら初志を忘れず真摯に学習に励む所存です。教えて頂く先生は、中国福建省出身の高建華さんという女性です。とても品格があり、時に厳格さも兼ね備えた、まさに老師（先生）という名にふさわしい方です。

中国語を学ぶ私たちにとっての高いハードルはピンイン（一種の発音記号）であり、声調であり、会話での音感です。フルカラーの如く存在する中国語の音が、モノクロの日本語の音に馴染んでいる私たちにあって、とてつもなく難しく感じます。



講師の高健華さん

それでも「学問に王道なし」で、結局は個々人の努力によって習得していくものだと思います。

ところで「邪馬台国」をめぐることは、常に議論が沸騰している感じがあります。ひとつ言えることは、当時のことが記された史料は日本に一切なく、ひたすら中国の史料に頼るしかないということです。私たちは昔も今も、中国漢字文化圏の中に在るということがわかります。そういった意味でも、中国語を学ぶことは大変意義深いことだと考えています。



中国、台湾への直行便が就航する茨城空港をもつ茨城県の多くの市町村が、余姚市をはじめ、重慶市、深圳市、桂林市など、中国の主要都市と姉妹友好都市を締結し、民泊やホームステイ等交流を盛んに行っています。私たちは語学学習と同時に国際交流にも貢献できるように、邁進していこうと思います。

中国語、あなたも一緒に学んでみませんか！



布を見て想像する

代表 豊田里美

「ブルー・ビー」はパッチワークを共に楽しもうとするサークルです。活動を始めて三年目に入ろうとしていますが、毎回おしゃべりと笑い声が絶えず、針もスムーズに動きます。

毎週金曜日を午前、午後、夜の部に分け、参加しやすい時間帯に三、四名の少人数が集まります。取り組みたい作品を選び、共に考えながら作り方をみつけるといった方法をとっており、各自で進めながらも、その中に共通のテーマを提示し、パッチワークの技法も修得できるような計画して活動をしています。

「何を作ろうか」から、これまでにさまざまな布を変身させてきました。例えば紳士物のネクタイを「にゃんこクリップ」という雑貨に。カーテンの一部を止めたりハガキ立てにして飾ったり、ちよつとしたブレゼントにも使われています。シルク素材で見目も手触りもよく、落ち着いたかわいらしさも感じられる作品になりました。

また、雨傘や日傘、着物の帯は、バックやポーチ、テーブルクロスへ



と姿を変えていきました。傘だけでは地味に見えてしまうものにはスパンコールを付け足し、反対に色が派手な帯を使うものには黒のメッシュをかぶせバランスを取るなど、試行錯誤して作品を仕上げるたびに驚きと喜びを感じられます。それは、作品が出来上がったことへの達成感と自己満足、仲間や知人に褒められたことへの優越感だけではなく、身の周りの布素材を使って新しいものに変えていく楽しさを教えてくれるパッチワークだからこそ感じられる



ものだと思えます。

私達が作るものの中には古布を用いた作品も多いです。布の持つ歴史などが感じられる素敵な作品ばかりです。古布は高価で購入するにはなかなかためらいがありますが、家族の古着を利用することもあります。目新しいものばかりではなく私達の身の周りに眠っている布などを利用しながらキルトを続けていこうと思います。



やまぶき 43 ヨガクラス

代表 菊地 美由紀
講師 佐々木 由紀子



やまぶき 43 は四十〜五十代の女性を中心としたヨガ教室です。月に二回、金曜日の夜に、生涯学習センターでレッスンをを行っています。四十〜五十代は、家事や子育て、仕事と、毎日がまだまだ忙しい年代です。日々の生活に追われて、



つい自分のことを後回しにしてしまいがちであるからこそ、自分自身で健康的な生活を管理する「自分ケア」のひとつとして、ヨガを行っています。ヨガによる運動不足解消はもちろんのこと、生活習慣や、筋力の低下による悪姿勢から起こる腰痛・肩こりといった慢性的な身体トラブルを解決していく為の姿勢改善も目的に行っています。簡単なヨガのポーズを行うことで、全身のストレッチや、筋力の強



化、身体のバランスを整えていくことに繋がっていきます。そしてヨガは、呼吸にも意識を向け、丁寧にゆつくりと身体の内側から動かすことができます。日常生活では気づけなかった自分の身体の動きや、左右のバランスの違いなどに気づき、身体の改善への近道になるように、自分自身を観察する時間でもあります。

- ・リフレッシュ
- ・リセット
- ・リラクセス



この三つを柱に、ヨガを通して、いくつになっても健康で、毎日を快適に、笑顔で過ごしていける自分作りを目指します。そしてヨガを一緒に楽しむ仲間を募集中です。ヨガ初心者の方も大歓迎です。ぜひ一緒に健康な自分を作ってくださいませんか。



**常陸太田
クラシックギター愛好会**

代表 中垣 京子

誰もが一度は耳にしたことのあるギターの名曲「禁じられた遊び」や「アルハンブラの思い出」。多くの人があのすばらしい音色に魅了されたことと思います。特に「禁じられた遊び」は、この曲が弾きたくてギターを始めたという方も多くいらっしやるでしょう。私もその一人です。

常陸太田クラシックギター愛好会は、生涯学習センターの教養講座からはじまりました。照沼安志先生の熱心なご指導を受け、ギターという楽器の奥深さや音色の美しさに魅了され、講座終了後ももっと勉強してみたい、美しい音色で弾きたいという思いから、愛好会として続けることになりました。活動期間は十六年程になり、現在、メンバーはだいぶ少なくなつてしまいましたが、月二回、生涯学習センターで練習をしています。基礎をしっかり身につけるために、曲の練習前には必ず、教則本からはじめます。

ギターは「小さなオーケストラ」とも言われています。弾き方を変えることで、多彩な音色を出すことが



でき、そして、かなり広い音域の曲を演奏することができます。ですから私たちもクラシックに限らず、ポピュラーや歌謡曲、ジャズやロックなど幅広いジャンルの曲を弾いてみようとして練習に励んでいます。なかなかうまくはいきませんが…。

練習時には音楽の話はもちろん、雑談にも花を咲かせながら、和気あいあいと楽しく練習を続けていきます。会の主な活動としては、毎月の練習のほか、市音楽協会の会員として、市民音楽祭、市民ふれあいコンサートへ出演、そして毎年二月の生涯学習フェスティバルに参加し演奏しています。今後ボランティア活動などをやってみてはどうかという話もでていますが、メンバーの減少と高齢化により、活動範囲を広めることへの厳しさも感じています。

以前、オカリナ、大正琴、コーラスなどの皆さんと合同演奏をしたことがあります。他の音楽団体と一緒に演奏することは、自分達にとっても勉強となるので、また同じような活動をして良いかなと思いましたが、とにかく今は、メンバーを増やすことが一番の目標です。

ギターに少しでも興味のあるみなさん、是非一度、練習に来てみてください。私たちといっしょに楽しくギターを弾いてみませんか。



パッチワークキルト・フープの会

常陸太田市文化団体連合会

副会長 小川 俊 江



常陸太田市パッチワークキルト・フープの会では、毎週水曜日にお弁当を持参する一日のパッチワーク教室を誉田公民館で開催しています。それぞれ思い思いの布や、作りかけ作品の手縫いにはげんでいます。

話に花をさかせながら、自分の作りたい物を個性ゆたかに作りあげます。ベッドカバー・こたつ掛け・四季折々のタペストリー・エコバッグ・ポーチ・ベビーキルト・ぬいぐるみ・千支の動物等々、この布はどうやったら生きるのか、と考え工夫しながら製作しています。

なんでも簡単に手にはいる時代ですが、パッチワークは布を集め、色を決め、形を決め、型紙を作り、自分で一から製作します。自分だけのオリジナル作品を手縫いで作るころに、楽しさや完成させた満足感・達成感があります。

着なくなった着物・ゆかた・洋服・野良着のカスリ・あいの布・ネクタイ等をリサイクルして、もう一度光をあててあげると思いがけないステキな作品になります。日本の布、特に着物は、世界に誇る布だと思えます。今後そういった布を大切に活用していきたいと思っております。

今年の一月には東京国際キルトフェスティバル(東京ドーム)を視察にいきました。日本のトップキルターや世界の有名な作品をみて、質の高さに感動しました。二月は誉田公民館主催「趣味の作品展」に出展。三月は第十二回常陸太田スロータウン「ひなめぐり」に参加します。現在、吊し雛飾りを皆で製

作中です。

ひなまつり
いくつになっても
たのしけれ

古布に

わたをたつぷり
つるしびな

愛情を

布にくるんで

ひなまつり



常陸太田市文化団体連合会 加盟団体名簿

令和2年3月現在

部門	No.	団体名	部門	No.	団体名	部門	No.	団体名
美術	1	常陸太田市彩友会	舞踊・ダンス	33	社交ダンス やまぶき会	工芸・手芸	65	常陸太田市パッチワークキルト・フープの会
	2	常陸太田水墨画協会		34	やまぶきフォークダンス会		66	クラフト会
	3	舞鶴水墨会		35	フラダンス同好会		67	パッチワークの会
	4	サタデー油絵クラブ		36	太田フォークダンス会		68	町田焼愛好会
	5	常陸太田市美術協会		37	フラダンス・サークル		69	金砂郷洋裁サークル
	6	里美書道会		38	Space HAG		70	ブルー・ビー
	7	里美絵手紙会		39	ファイ・フラ・オ・アロハナ		71	常陸太田市さつき盆栽会
	8	水府書道会		40	天神林町天神ばやし保存会		72	常陸太田一步会
	9	ときわ水墨画会		41	常陸太田県北地ばやし保存会		73	常陸太田市囲碁連盟
	10	里美陶芸クラブ		42	霞朗詠会太田正吟会		74	ひたち太田生物友の会
	11	アート萌サークル		43	常陸太田民謡楽鵬会		75	茶道・茶都美会
	12	実用書道の会		44	常陸太田市民謡協会		76	里美囲碁会
	13	たたら会		45	常陸太田磯部都々逸保存会		77	太田華道会
音楽	14	常陸太田クラシックギター愛好会	芸能	46	常陸太田藤流吟道会	趣味・健康	78	あじさい会
	15	常陸太田市音楽協会		47	さとみ吟詠会		79	コスモスいけばな
	16	箏栄会		48	里美太鼓会		80	里美盆栽会
	17	常陸太田市歌手連絡協議会		49	里美華翠連		81	太極拳やまぶきの会
	18	金砂郷ふるさと合唱団		50	茨城楽終会水府支部		82	常陸太田ウォーキングクラブ
	19	大正琴教室微風		51	常陸太田市太鼓連盟		83	サークル花水木
	20	ハーモニーふじ		52	都々逸教室		84	日本盆栽協会常陸太田支部
	21	里美カラオケ連合会		53	さたけ太鼓の会		85	いけばなサークル森田社中
	22	女声合唱団 Seeds		54	葵の会		86	いけばな川上
	23	ハンドベルサークル アフェット		55	常陸太田短歌会		87	常陸太田市茶道連合会
楽	24	ポニー・アイランダース	歴史・文学	56	常陸太田まちかど案内人の会	88	常陸太田山草会	
	25	水府オールスターズ		57	常陸太田古文書に親しむ会	89	すいふ友遊クラブ	
	26	常陸太田歌謡研究会		58	ふる里の祖歴を学ぶ会	90	西山パソコン04サークル	
	27	太田ハーモニカ教室		59	金砂郷おむすびの会	91	西山パソコン愛好会	
	28	アンサンブルかわせみ		60	金砂大田楽研究会	92	花サークル Ivy	
	29	オカリーナ カワセミ		61	常陸太田の黄門様検定会	93	中城町女性の会 花水木	
	30	五月会		62	漢語愛好会	94	フラワーアレンジメントの会	
舞踊・ダンス	31	優柳会	映画・演劇	63	常陸太田ビデオ研究会	95	ワハハぼんぼ太田	
	32	いずみ舞踊会		64	水府よい映画をみる会	96	やまぶき43	

編集後記

昨年10月の台風19号は当地にも甚大な被害をもたらしました。会員の方の中にも被災された方がいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

また、3月現在、新型コロナウイルスが国内外において猛威を振るい、地域における文化活動や文化事業へも大きな影響を与えています。2月に予定しておりました文化団体連合会視察研修も急遽中止となりました。皆様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。また、事業の中止を余儀なくされた団体も多数あるかと思えます。一刻も早く事態が収束し、皆様が健康に文化活動を再開できることを願っております。

このような状況ではありますが、加盟団体の皆様に原稿をお寄せいただき、『ひたちおおたの文化第22号』を無事に

発行することができました。お忙しい中ご協力いただいた皆様に深く御礼申し上げます。ありがとうございます。本年度も会員以外の方に当会の活動を知っていただきたいと思い、この機関誌を全地区回覧とさせていただきます。会員を募集している団体も多数ありますので、興味がありましたら、ぜひ事務局までお問合せください。

末筆ながら、皆様の益々のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。

【常陸太田市文化団体連合会事務局】

常陸太田市教育委員会文化課文化振興係
〒313-0055常陸太田市西二町2200番地
TEL 72-3201 FAX 72-3310